

翔洋

P T A ・ 学 校 通 信
厚岸翔洋高等学校 P T A
総 務 部 編 集
No. 44



平成21年4月1日、厚岸潮見高校と厚岸水産高校の統合により「翔洋」と称して発刊しました。「翔洋」からは、「大きな太平洋にはばたく前向きなイメージ」が連想されます。

楽しみながら自立心を養おう。



P T A 会 長 加 藤 大 将

日頃より、本校のPTA活動に對しまして、ご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年より、PTA会長を務めさせて頂いております。加藤大将と申します。改めて宜しくお願ひ致します。

さて、厚岸翔洋高校は、厚岸に唯一の高等学校であり、非常に役割が大きいと考えておりますが、歴史ある本校には多くの設備が充実しておりますので、様々な資格の取得が可能なのほか、先生達も生徒の事を第に考え、最後まで粘り強く支えてくれる方々ばかりで、素晴らしい環境だと感じております。

よって、生徒の皆さんには、コロナ禍で様々な制限がある中ではございますが、勉強だけではなく、誰に対しても思いやりを忘れず、仲間と積極的に交流しながら、部活動や学校行事などを通じて幅広く経験をさせて頂き、翔洋高校を選んで良かったと思えるような、最高の高校生活を送って頂きたいと心から願っております。

また、これからの時代は、今までの当たり前が通用しない時代となるだろうと、私自身、非常に強く感じています。

そんな厳しい時代の変化に対応する為には、無限の可能性を秘めた、若くフレッシュな力が今後絶対に必要になります。

ですから、生徒の皆さんには、古い価値観などにとらわれず、とにかく自分らしく前向きに、新しい発想で色々な事にチャレンジして欲しいと思います。

そして、それらの経験が、後に社会人となった時、自信を持って行動出来るきっかけとなり、自立心を持てるようになり、結果として皆さんの人生を豊かにする大きな材料になると考えております。

私は、そんな生徒の皆さんの為に、微力ではございますが、保護者の方々に知恵をお借りしながら、PTA活動を通じて子供達の将来の為に何が出来るのか、しっかりと議論を重ねて参りたいと考えておりますので、今後ともPTA活動に對しまして、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。今後とも宜しくお願い致します。

PTA三役（事務局）

役職	氏名	備考
会長	加藤 大将	3 F
副会長	日向 秀樹	3 K 1 B
監査	佐藤 由喜子	1 A
事務局	福田 雅人	校長
	永谷 美和	3 F
	長崎 美香	2 K
	柴田 耕一郎	教頭
	寺田 和格	事務長

入学式



1 年 A 組



1 年 B 組

大人への階段

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。三十二人全員が揃って、入学式を迎えられたことを喜ばしく思います。

これから三年間の高校生活で授業の他に、資格や検定への挑戦、部活動、校内行事など様々な出来事を経験していくことでしょう。

さて、今年四月から成年年齢が十八歳に引き下げられました。成年年齢の見直しは約百四十年ぶりのことらしいです。

卒業する頃にはほとんどの人が大人として接せられます。ただ時間自身を任せるだけでも大人になれます。しかし、それで本当にいいのだろうか？

大人への階段って意外と楽しんだ



すが、ほんやりと上ってしまおうと後々後悔することになります。

三年間をどう過ごすのか、三年後に後悔のない笑顔で卒業できる過ごし方になっていることを祈っています。

一年B組 近藤 暖起

「どうせ大人になるなら、カッコいい大人になろう」

これは私が高校生の時に言われた言葉です。そのときは「カッコいい」が何を指すか深く考えていませんでしたが、時が経つにつれて「カッコいい大人」とは何か考えるようになっていました。「カッコいい大人」の要素の一つとして、私は「謙虚さ」を挙げます。自己に固執することなく多くのことを素直に受け入れて努力し、他者を尊重し感謝の意を述べる事ができる人を私は心から「カッコいい」と思っています。

民法改正により、十八歳で成人と定められた現在、新入生の皆さんは高校三年時に誕生日を迎えると成人になり、「大人」として扱われます。心理学者レヴィンの言葉を借りると、皆さんはいま「マジナル・マン



ン」と呼ばれる大人でも子供でもない立場にいますが、いつかは「大人」になります。日々、自己研鑽に努めながら、高校三年間で自己の人生を切り拓いていく力を育み、いつか皆さんが「カッコいい大人」になってくれることを強く願っています。

将来の姿

一年A組 丸田 宏平



未来に翔く翔洋卒業生



校長
福田 雅人

現在、三十二名の一年生を含め全校生徒八十九名が落ち着いた雰囲気のもと、のびやかに授業や諸行事、さらには部活動に取り組んでいます。全校生徒のうち、厚岸町居住者の割合は約七十四%であり、また今年度は、町内中学校卒業生の約三十五%が本校に入学されました。潮見・水産の町内二校の再編統合による本校設立当時、地域のみならず、普通科には、「進学から就職まで多様な進路の実現」、海洋資源科には、「水産・調理分野でのプロフェッショナルの育成」といった期待が寄せられていたと伺っております。翔洋高校となつてから入学し卒業された方は、現在まだ二十歳代と年齢的に若いのですが、役場で地域に貢献しようと頑張っている方、小学校教師として未来を託す子どもたちの教育に情熱を燃やしている方、漁業者として地域の基幹産業を担っている方、水産庁職員として広い視野から水産業の発展に取り組んでいる方、船員として広大な海をめぐっている方、首都圏の人気レストランでシェフとして腕を振るっている方など、すでに様々なところで活き活きと自分らしさを発揮して活躍されています。まだ若い翔洋卒業生のみならず、将来、一層飛躍されるものと大いに期待し楽しみにしています。

本校は生徒数が少ないがゆえに、一人一人の生徒をしつかりと見守り、手厚い支援を行っています。本校はこれからも、入学した生徒のみならずの資質・能力を三年間を通じて最大限に伸ばさせ、生涯にわたって活き活きと人生を歩んでいく「未来に翔く人」を育ててまいります。今年度も、保護者や地域のみならずのご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

新任紹介



重山 輝仁

- 1 北海道帯広養護学校
- 2 商業
- 3 音楽鑑賞・楽器演奏
- 4 教員生活三十二年目、初めての釧路管内勤務となりました。初心に返って様々なことに取り組み、微力ではありますが、お子様の成長を支えることができたいと思います。
- 保護者の皆様を始め、地域の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



藤谷 怜奈

- 1 帯広市立帯広第五中学校
- 2 家庭
- 3 キャンプ、旅行
- 4 初めての高校勤務で慣れないことも多いですが生徒から毎日パワーをもらっています。私自身もたくさん学びながら家庭科の魅力を伝えていきます。授業以外の面でも皆さんをサポートし、一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



野村 千尋

- 1 新採用
- 2 英語科
- 3 映画鑑賞、バスケットボール
- 4 新採用として厚岸翔洋高校に赴任いたしました。初めてのことはありますが、何事にもチャレンジし、生徒と共に成長していけるよう、日々努めてまいります。これからどうぞよろしくお願い致します。



佐野 理美

- 1 厚岸町立真龍中学校
- 2 国語
- 3 リサイクルショップ巡り
- 4 厚岸での勤務は二年目になります。海の美しいこの町で、生徒と共に学び続けられることを嬉しく思っています。生徒たちが有意義な学校生活を送ることができるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



鈴木 千春

- 1 厚岸町立太田小学校
- 2 事務
- 3 旅行 ヨガ バドミントン
- 4 令和元年に翔洋高校から町内の義務教育学校に勤務していましたが、この度三年ぶりに戻ってまいりました。
- 新たな気持ちで微力ですが本校のために頑張りますので、よろしくお願い致します。



村上 大将

- 1 厚岸翔洋高等学校（出身校）
- 2 事務
- 3 書道
- 4 この厚岸翔洋高校を卒業して初めての社会人生活を再びこの学校で過ごすことになりました。今度は生徒としてではなく、この学校を支える職員の一員として、誠心誠意励んでいこうと思っております。

グラウンド整備



株式会社宮原組の皆様にはグラウンドの転圧作業を行っていただきました。授業や部活動、学校行事など多くの活動を一杯取り組むことができるようになりました。心より感謝申し上げます。

翔洋高校アラカルト



入舎式



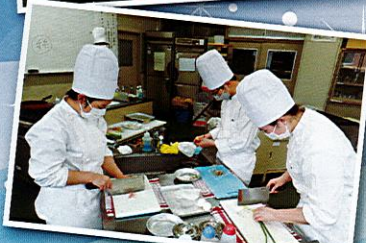
着任式・前期入学式



出港壮行式



調理実習



高文連・高体連・高野連壮行会



水産実習